

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間及び本四半期報告提出日（2021年3月15日）現在において、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更があった事項は次のとおりです。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

また、以下の見出しに付された番号は、前事業年度の有価証券報告書における「第一部 企業情報 第2 事業の状況 2 事業等のリスク」の項目番号に対応したものであり、文中の下線部分に変更箇所です。

(3)その他

① 感染症による影響について

当社婚礼施設には新郎新婦さまのご親族やご友人等の多くのお客さまが来館されるため、新型コロナウイルス等の感染症の拡大懸念が生じた場合は挙式・披露宴の延期や中止が発生する場合があります。

従来より、インフルエンザ等の感染拡大防止のためアルコール消毒や除菌装置の設置、従業員の手洗い・うがいの徹底等を実施しておりましたが、そちらに加え、新型コロナウイルスの感染防止対策として、30分に1度のアルコール消毒及び換気措置を徹底する他、ソーシャルディスタンスの確保に配慮した運営をいたしております。また、従業員は入社前の検温並びに体調確認を行い、感染が懸念される場合は出勤停止の措置をとっております。介護施設においても、アルコール消毒液や除菌装置の設置に加え、外部との面会禁止の措置をとる等、感染防止に最大限努めております。

また、当社グループにおいて「新型コロナウイルス対策本部」を設置し、グループ全体での安全対策や資金繰り、投資計画の見通し等、日々変化していく状況を踏まえて適宜対応しております。

なお、2020年に発生した新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、婚礼施設は緊急事態宣言発令から2020年5月末まで全店で臨時休業を行い、お客さまと従業員の安全を第一に考え、同年8月末までは延期を推奨しておりました。その後、2021年1月に一部地域において2度目の「緊急事態宣言」が発出されたことにより、挙式・披露宴の延期や一部キャンセル等が発生し、当社グループの経営成績に大きく影響を及ぼしております。今後、新型コロナウイルスの感染拡大が更に続く場合は、その影響がさらに大きくなる可能性があります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2020年11月1日から2021年1月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一部地域において2度目の「緊急事態宣言」が発出されております。一方で、感染拡大防止と経済活動の両立を図る動きがみられるようになりましたが、世界規模では感染が拡大しており、国内でも感染再拡大による警戒感から依然として先行きは不透明な状況が続いております。

ウェディング業界におきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大を防ぐため、密集・密接・密閉の「3密」を避け、外出を自粛する等の消費者意識の広がりにより、挙式・披露宴の延期や集客イベントの開催中止等、大変厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、お客さまと社員の安全・安心を最優先事項と考え、最大限の感染防止対策を施した上で挙式・披露宴を実施いたしました。施行組数及び施行単価が減少し、減収減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,900百万円（前年同四半期比55.2%減）、営業損失は909百万円（前年同四半期は7百万円の営業利益）、経常損失は448百万円（同14百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は455百万円（同1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、挙式・披露宴の延期が発生し、施行組数が減少したことから、売上高は1,746百万円（前年同四半期比57.6%減）、営業損失は919百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

② 介護事業

売上高は138百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益は11百万円（同33.8%増）となりました。

③ 食品事業

前連結会計年度（2020年10月）に食品事業を展開する子会社を設立し、売上高は18百万円、営業損失は2百万円となりました。

(2) 財政状態の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ894百万円減少し17,003百万円となりました。これは主に、現金及び預金が360百万円、流動資産その他が240百万円、有形固定資産が232百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ457百万円減少し9,517百万円となりました。これは主に、長期借入金が230百万円、流動負債その他が207百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ436百万円減少し7,486百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失455百万円の計上による減少であります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント下降し43.8%となりました。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動
該当事項はありません。

(5) 施行、仕入、受注及び販売の実績

① 施行実績

当第1四半期連結累計期間における施行実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	
	施行数	前年同四半期比 (%)
婚礼事業	525組	52.4

(注) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、挙式・披露宴の延期が発生し、施行組数が減少しております。

② 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	
	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
婚礼事業	327,476	34.5

(注) 1. 仕入高には、消費税等は含まれておりません。
2. 挙式・披露宴の延期が発生し、施行組数が減少したことから、仕入実績が減少しております。

③ 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)			
	受注数	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
婚礼事業	882組	58.9	5,955組	127.7

(注) 1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、集客数が減少し受注数が減少しております。
2. 挙式・披露宴の延期が発生したことから、受注残高は増加しております。

④ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	
	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
婚礼事業	1,746,554	42.4

(注) 1. 販売高には、消費税等は含まれておりません。
2. 挙式・披露宴の延期が発生し、施行組数が減少したことから、販売実績が減少しております。

3 【経営上の重要な契約等】

当社は、2020年12月14日開催の取締役会において、当社が完全子会社として新たに設立したアイ・ケイ・ケイ分割準備会社株式会社（以下、「分割準備会社」といいます。）に対して当社の婚礼事業を承継させる吸収分割を行うため、分割準備会社との間で吸収分割契約を締結することを決議し、同日分割準備会社との間で吸収分割契約を締結いたしました。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（追加情報）」に記載のとおりであります。